

防災学習及び避難所体験（10/11～10/12）

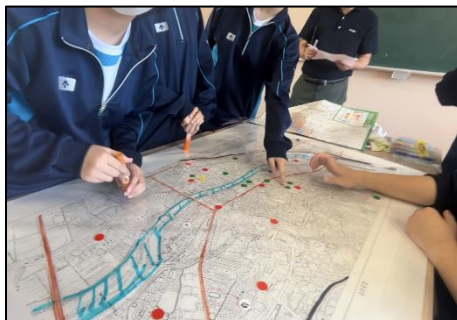
10月11日（金）～12日（土）に、防災学習及び避難所体験を実施しました。11日（金）は佐世保市から防災士の方をお招きし、1・2年生全員でクロスロードゲームを実施しました。また、当日は避難所の指定を受けている本校の校舎で、希望生徒が避難所体験をして、校舎に宿泊しました。

12日（土）は4つのグループに分かれて、自分の興味関心のある防災学習を受講しました。「自助力を高める」という目的のもと、実践的な学習活動をとおして、災害が実際に起こった時に活用できる知識や技術を学びました。小学生を含む地域住民10数名の参加もあり、地域住民の方との関わり合いを体感しながら地域全体の自助力を高めることができました。今後は、この防災学習で得た知識や技術を実際の場で活用できるように意識をさらに高め、共助の輪を広げられるようにしていきます。



三角巾を用いての応急処置法を学びました。参加してくれた地域の小学生と一緒に固定の手順を実践しました。怪我をした人が不安にならないように、声をかけながら処置をすることが大事です。

簡単テントは組立てやすく、プライバシーを守ることができます。中は広々！でした。



消火栓の仕組みと使い方を学びました。実際にホースを出してもらい、その長さに驚きました。

DIG研修をとおして、自分の町の特徴を知りました。本明川と自宅付近の避難所への行き方を考えました。

身近にあるものでパッククッキングを行いました。ビニール袋に水と米を入れて加熱すると、白米を炊くことができます。